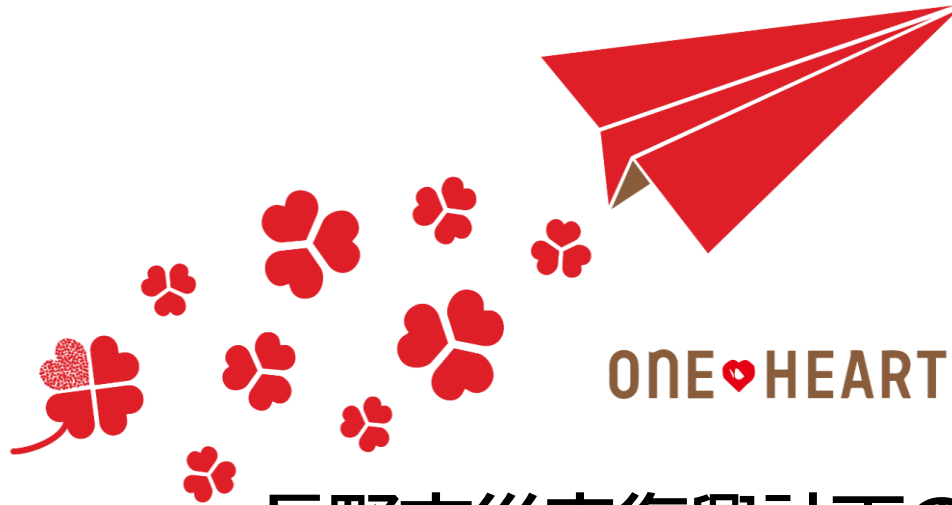




長野市災害復興計画の進捗状況について

長野市企画政策部
復興局 復興推進課

ONE HEART



いまこそ応援

がんばろう NAGANO 2021

1-1 河川の復旧状況【総括】

災害復興計画／1-3-1治水・治山対策

2

令和3年10月31日現在

管理者	河川名	地区	箇所数	進捗状況 (R3.7.31)	進捗状況 (R3.10.31)	備考
国	千曲川	長沼(復旧)	1	完了	完了	決壊箇所の復旧延長140m
		長沼(強化)	1	完了	完了	上記箇所の上下流 420m
		篠ノ井塩崎(復旧)	1	完了	完了	軻良根古神社付近
		篠ノ井塩崎(強化)	1	完了	完了	近々に宅地側堤防のり面のコンクリート被覆工事に着手
県	浅川	豊野	4	完了	完了	
	三念沢	豊野	1	完了	完了	
	赤野田川	若穂	3	完了	完了	
	保科川	若穂	4	完了	完了	
	蛭川	松代	1	完了	完了	
	神田川	松代	1	完了	完了	
	藤沢川	松代	1	完了	完了	
	岡田川	篠ノ井	1	完了	完了	
	聖川	信更	3	完了	完了	
	犀川	信更	1	完了	完了	
市	高岡川	若穂	1	75%	90%	令和3年中の完了予定
	唐沢川	若穂	1	完了	完了	
	銅山川	松代	1	完了	完了	

信濃川水系緊急治水対策プロジェクト～千曲川～

資料提供:千曲川河川事務所

R3.9末時点

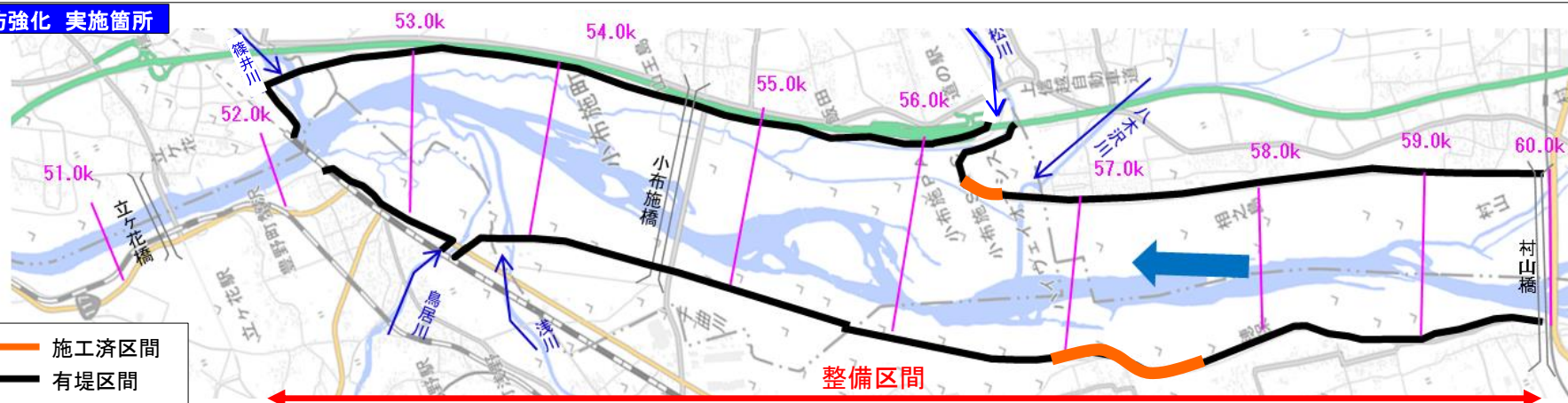
長野県中野市・長野・須坂市・小布施町:堤防強化(たてがはな～村山橋:左右岸)の進捗状況について

○信濃川水系(千曲川・信濃川中流)では、令和元年東日本台風(台風第19号)における甚大な被害を受け、流域内の関係者が連携して「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」を進めているところです。

○立ヶ花狭窄部によるせき上げ影響区間となる「立ヶ花～村山橋」の有堤区間について、堤防強化対策を実施しています。

○令和5年度の出水期までに整備を完了させる予定としています。

堤防強化 実施箇所



位置図



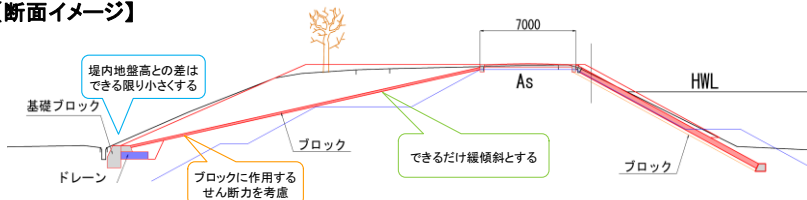
進捗状況(R3. 9月末時点)

進捗率＝約4%

堤防強化 実施状況



【断面イメージ】



信濃川水系緊急治水対策プロジェクト～千曲川～

資料提供：千曲川河川事務所

長野県長野市：堤防強化（立ヶ花～村山橋：左右岸）の進捗状況について

R3.9月末時点

○令和3年10月現在、左右岸あわせて約8km区間（全体約16km区間）において、左岸で7工区、右岸で9工区に区分し工事発注済。

○現在、本格的着手に向け、工事用道路用地の借地（左右岸）、左岸桜づつみ区間における桜の仮移植などの準備工を実施中。

【桜雁移植状況】



【大型土のう製作状況】



【大型土のう設置状況】



【大型土のう設置状況】



1-4 千曲川の堤防強化工事（篠ノ井塩崎）

災害復興計画／1-3-1治水・治山対策

5

【千曲川：篠ノ井塩崎地区】

今年12月から宅地側堤防のり面のコンクリート被覆工事に着手

全面被覆により堤防が強靱化

軻良根古神社

施工延長 L=690m

宅地側

千曲川

川側

聖川

写真提供：千曲川河川事務所



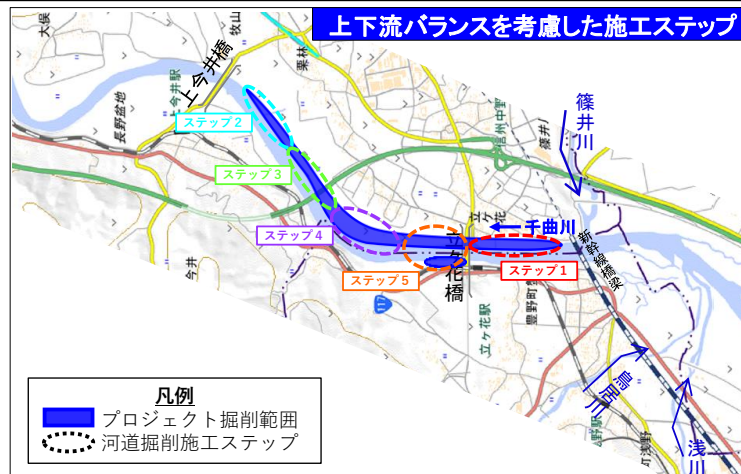
信濃川水系緊急治水対策プロジェクト～千曲川～

資料提供:千曲川河川事務所

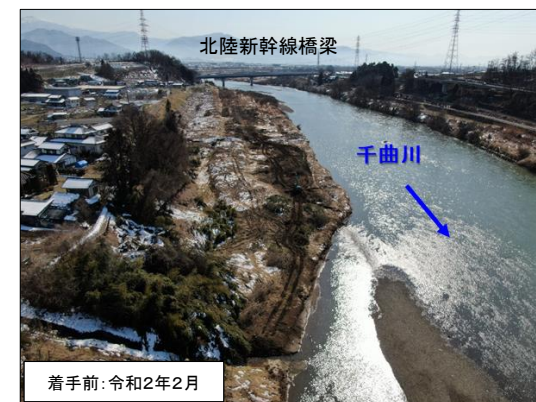
長野県中野市:河道掘削(立ヶ花狭窄部)の進捗状況について

R3.9末時点

- 信濃川水系(千曲川・信濃川中流)では、令和元年東日本台風(台風第19号)における甚大な被害を受け、流域内の関係者が連携して「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」を進めているところです。
- 令和3年2月22日よりプロジェクトの一環である立ヶ花・戸狩狭窄部の掘削を開始しました。今回の河道掘削をはじめ様々な治水対策を実施することにより令和元年東日本台風と同等規模の台風洪水における千曲川本川の越水等による家屋部の浸水を防止します。
- 信濃川流域全体での上下流バランスや、氾濫域のリスク等を総合的に勘案しつつ、千曲川本川の水位低下を目指し、対策を行ってまいります。
- 信濃川水系緊急治水対策プロジェクトでは、令和9年度まで河道掘削(立ヶ花狭窄部)を実施する予定としています。



河道掘削 実施状況 ※ステップ1実施中

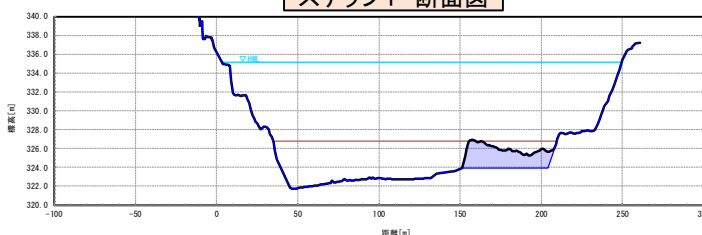


着手前:令和2年2月

進捗状況(R3. 9月末時点)

進捗率＝約5%

ステップ1 断面図



掘削作業状況



着手後:令和3年9月末時点

信濃川水系緊急治水対策プロジェクト～千曲川～

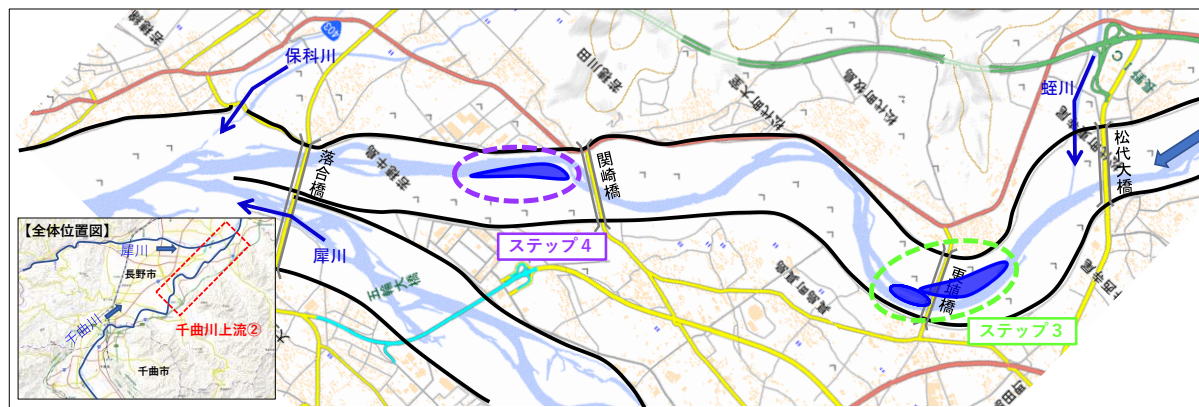
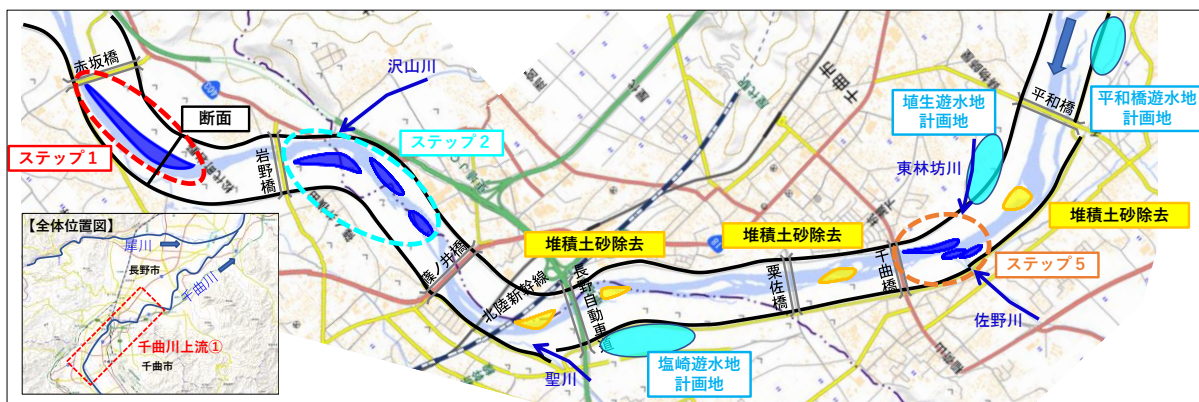
資料提供:千曲川河川事務所

長野県長野市・千曲市:河道掘削(千曲川上流)の進捗状況について

R3.9月末時点

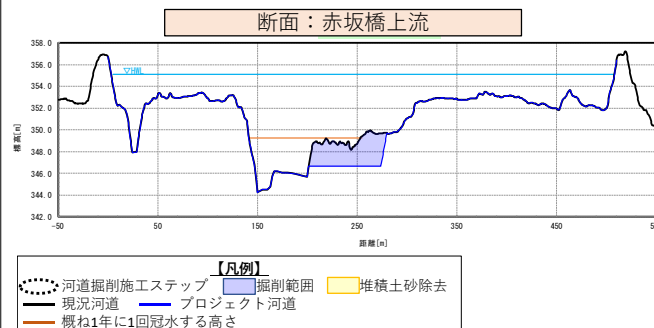
- 信濃川水系(千曲川・信濃川中流)では、令和元年東日本台風(台風第19号)における甚大な被害を受け、流域内の関係者が連携して「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」を進めているところです。
- 今回の河道掘削をはじめ様々な治水対策を実施することにより令和元年東日本台風と同等規模の台風洪水における千曲川本川の越水等による家屋部の浸水を防止します。
- 信濃川流域全体での上下流バランスや、氾濫域のリスク等を総合的に勘案しつつ、千曲川本川の水位低下を目指し、対策を行ってまいります。
- 信濃川水系緊急治水対策プロジェクトでは、令和9年度まで河道掘削を実施する予定としています。

河道掘削 実施箇所



進捗状況(R3. 9月末時点)

進捗率＝約3%



河道掘削実施状況 ※ステップ1実施中



遊水地計画地 位置図

資料提供:千曲川河川事務所

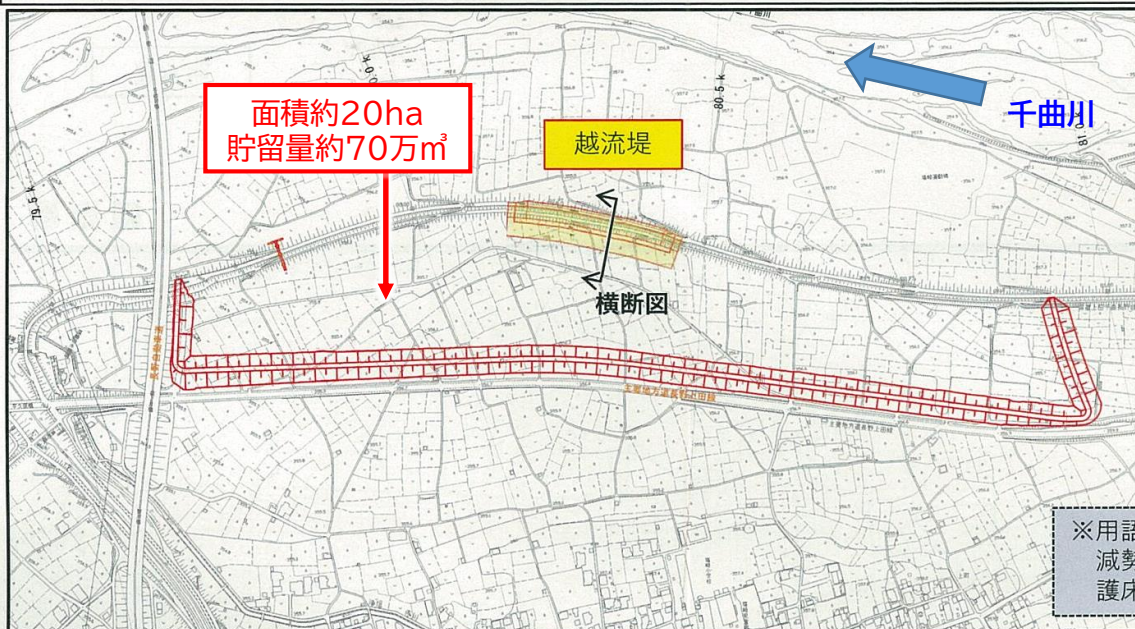
- 令和元年東日本台風に対する治水対策として、直轄管理区間(飯山市湯滝橋付近～上田市大屋橋)において、5箇所の遊水地整備を予定。
- 令和6年度(若しくは令和9年度)までの遊水地事業完成を目指す。



塩崎遊水地 越流堤

資料提供:千曲川河川事務所

- ・越流堤は遊水地の中央部へ設置する。
- ・越流堤とあわせて、減勢工※、護床工※を設置する。(※減勢工、護床工等を設置する範囲は用地買収が必要となる。)



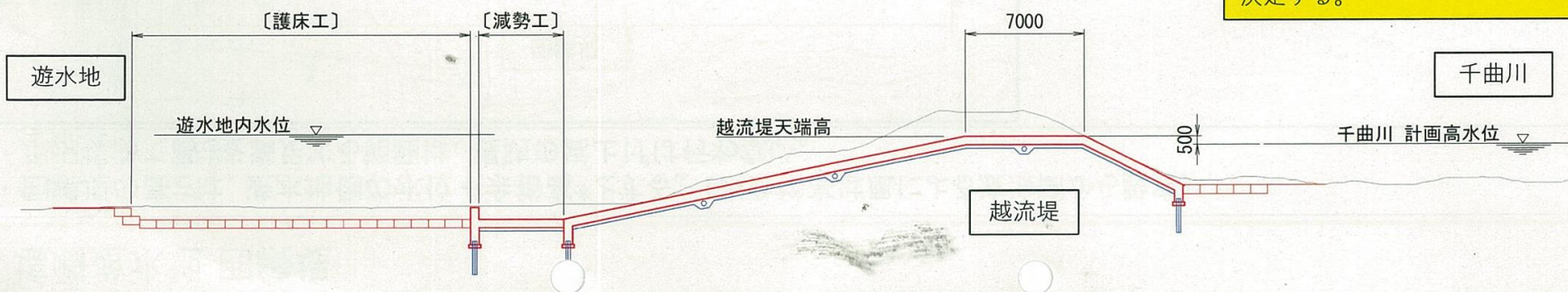
住民・地権者への事業説明会(11月7日)

※用語解説

減勢工：越流堤を越えて流入する洪水の勢いを減ずる施設

護床工：越流堤を越えて流入する洪水による洗掘を防止する施設

横断面図



越流堤の構造は、今後の設計検討、水理模型実験の結果等より詳細を決定する。

河川整備計画の変更骨子（案）：治水

◆信濃川水系河川整備計画変更のポイント

① 令和元年10月東日本台風洪水を踏まえた見直し

◆現行の河川整備計画目標流量を大きく上回る洪水の発生を踏まえ、目標流量を見直し。将来の気候変動の影響による降水量の増大等を踏まえたものとする。

●上流部（千曲川）

戦後最大を更新した令和元年10月洪水と同規模の9,400m³/sを基準地点立ヶ花の目標流量とし、堤防の決壊、越水等による家屋の浸水被害の防止又は軽減を図る。

●中流部（信濃川）

戦後最大を更新した令和元年10月洪水及び上下流バランスを考慮し、12,000m³/sを基準地点小千谷の目標流量とし、堤防の決壊、越水等による家屋の浸水被害の防止又は軽減を図る。

◆河道掘削等の河道改修の推進と併せ、洪水調節機能の向上を図る対策の実施や調査・検討。

河口部で洪水処理を担う大河津分水路の改修を優先的に進めるとともに、上流部・中流部の安全性が段階的に向上するよう立ヶ花狭窄部などの河道掘削や築堤等の整備を実施する。

また、大町ダム等再編事業に加え、遊水地の設置や、洪水調節機能の向上を図るため、関係機関と調整のうえ調査・検討を行い、必要な対策を実施する。

② 流域治水を踏まえ治水対策案を見直し

ハード対策のみならずソフト対策や流域対策など、あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」へ転換。

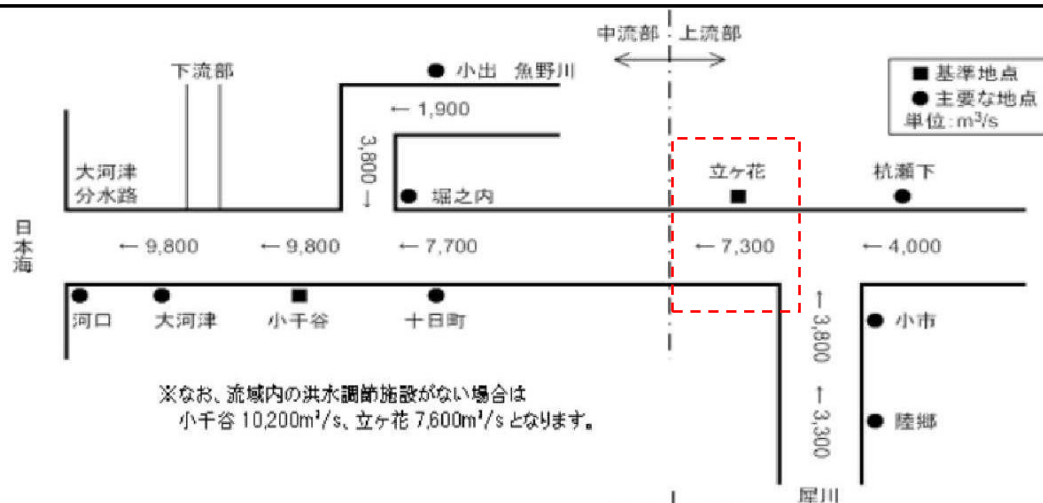
●既存の霞堤により洪水流を貯留する効果や氾濫流の拡大防止効果の維持・保全を図る。また、掘削残土を活用した河川防災ステーションの整備を行う。さらに、住民の確実な避難に向けたマイ・タイムラインや流域タイムライン等のハード・ソフト一体となった対策により、被害軽減を図る。

河川整備計画の変更骨子（案）：治水

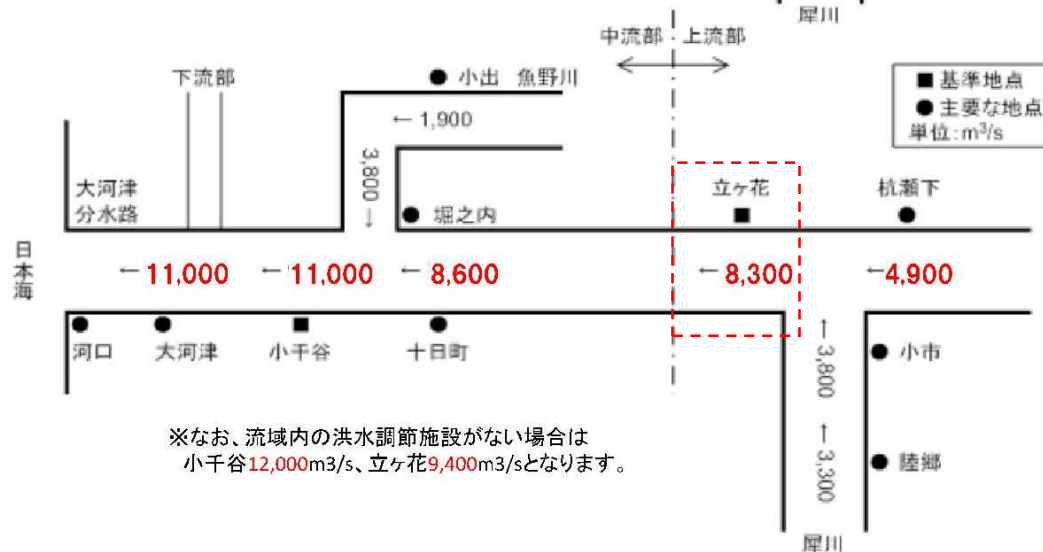
◆流量配分図（中・上流部）

- 戦後最大規模の洪水となった令和元年東日本台風（台風第19号）洪水に対し災害の発生防止又は軽減を図るため、整備目標の引き上げを実施。
- 計画変更の対象区間は、被災、出水規模等を踏まえ、上流部千曲川及び中流部の信濃川の本川に位置する基準地点、主要地点の区間とする。

現行（H26.1策定）



変更(案)



5 高岡川の復旧状況（市管理河川：若穂保科）

- ・全復旧延長 1,561mを3つの工区分けて復旧中
- ・進捗率は90% 今年12月中の全工区完了予定



【総括】

令和3年10月31日現在

管理者	施設名	所在地	ポンプ能力	進捗状況(%) (R3.7.31)	進捗状況(%) (R3.10.31)	ポンプ能力 復旧率	備考
長野平 土地改良区 (市へ管理委託)	浅川第一排水機場	小布施町	14.0 m³/s	60%	75%	7%	R4.3月本稼働予定
	浅川第二排水機場	小布施町	30.0 m³/s	100%	100%	100%	本稼働
	長沼排水機場	長沼	16.5 m³/s	100%	100%	100%	本稼働
市	大道橋排水機場	豊野	0.2 m³/s	100%	100%	100%	本稼働
	赤沼雨水ポンプ場	長沼	1.8 m³/s	100%	100%	100%	本稼働
	三念沢雨水ポンプ場	豊野	1.36 m³/s	100%	100%	100%	本稼働
	沖雨水ポンプ場	豊野	3.66 m³/s	100%	100%	100%	本稼働
	小森第一排水機場	篠ノ井	17.0 m³/s	100%	100%	100%	本稼働

※ポンプ能力復旧率：仮設備による復旧を含めた従前のポンプ能力に対する復旧率

浅川第一排水機場



・排水機場の建屋工事を進めるとともに、排水ポンプについて工場製作を進めている。令和4年3月の本稼働を予定

・浅川第一排水機場のポンプ能力不足分については、既存農業用ため池を活用した流出抑制対策により およそ4割を補完

【低水位管理の効果】

ため池の貯水位を下げ、空き容量を確保することにより、降雨時の流入を一時的に貯留させ、河川の流出量を抑制

浅川大池（総貯留量29万 m^3 ）

低水位管理中の様子

14万4千 m^3

満水位

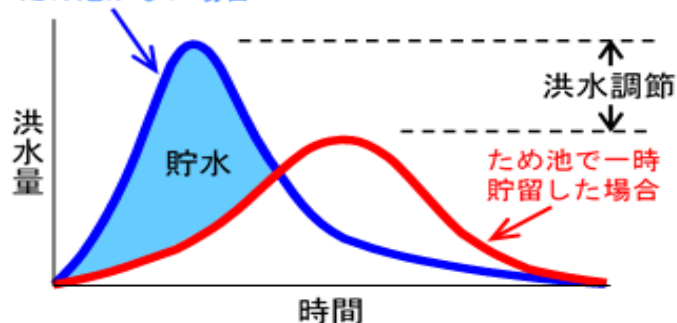
低水位

一時貯留量

河川のピーク流量を抑制

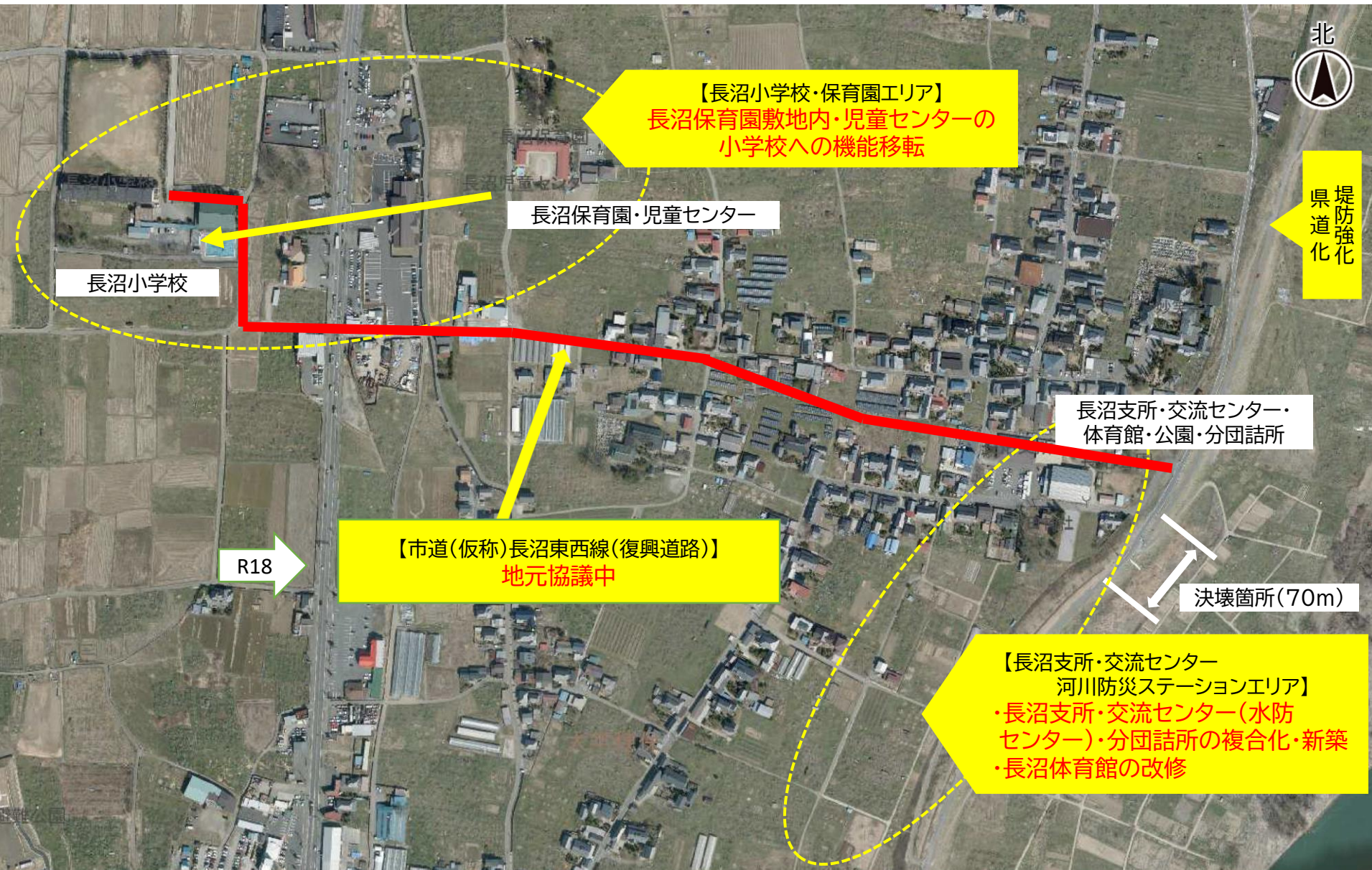
ため池の洪水調節イメージ

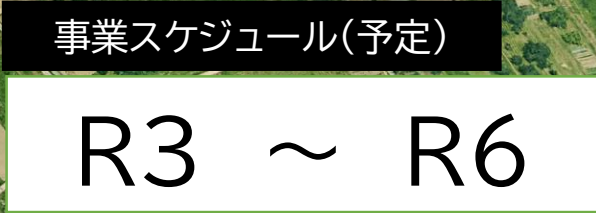
ため池がない場合



実施状況と今後の予定

- ・令和2年度（ため池管理者のボランティア）⇒ ため池18箇所、合計約49万 m^3 の貯留
- ・令和3年度（低水位管理業務委託の締結）⇒ ため池16箇所、合計約46万 m^3 の貯留量を確保
- ・令和4年度～⇒ 流域治水として引続きたため池管理者の協力のもと低水位管理を継続





8-3 長沼地区河川防災ステーション 配置図

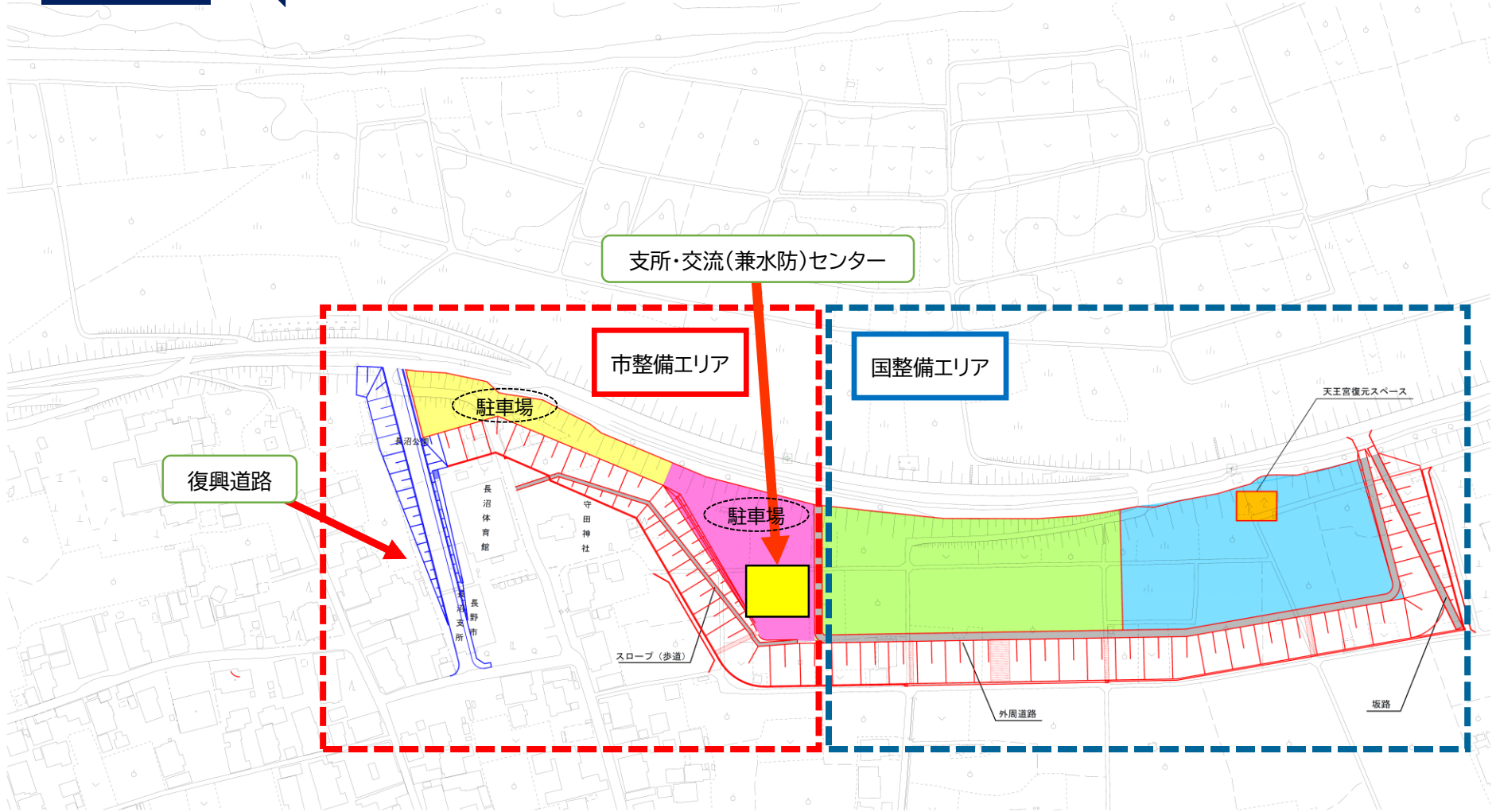
災害復興計画／1-2-1生活インフラ・ライフライン等の整備

17

千曲川



長沼地区河川防災ステーション平面図（案） S=1:1,000



- 下流盛土エリア
- 複合施設エリア
- 備蓄土砂エリア
- 備蓄資機材エリア(基本的に平常時利用は不可)

0m 50m 100m
S=1:1,000

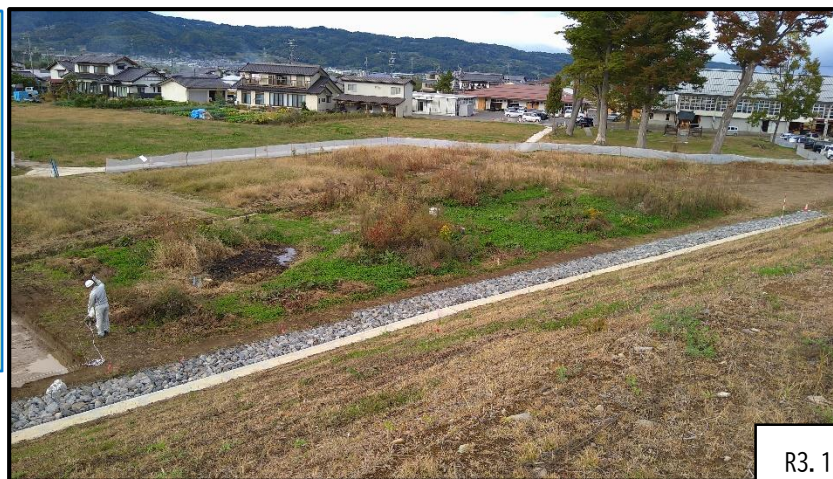
※範囲等の詳細については今後変更となる可能性があります。
※盛土上では埋蔵文化財（長沼城）の遺構を表現する施策を行う可能性があります。

R3年8月から国と市が共同で埋蔵文化財調査開始
(下流【支所】側より実施)



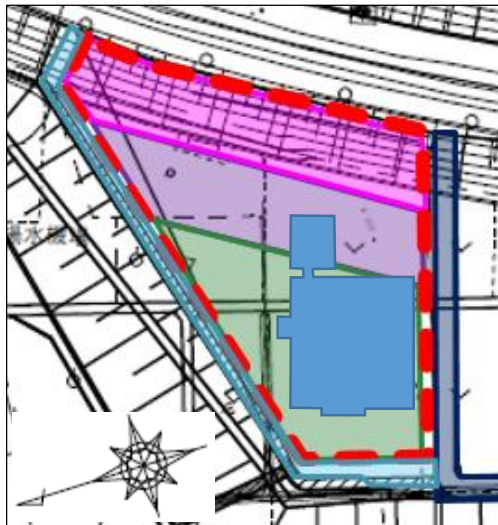
R3~4
埋文調査
(発掘作業)

R5~6
埋文調査
(整理作業)



R3. 11月現在

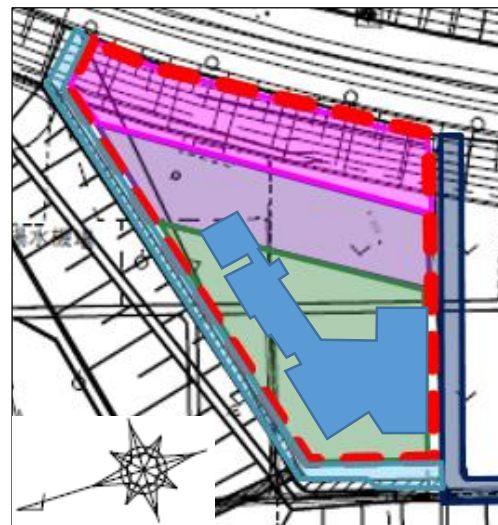
プランA:約1,080㎡



プランB:約915㎡



プランC:約1,190㎡



プランD:約1,150㎡



R3.9.25 長沼地区河川防災ステーションワークショップ(第1グループ)にて市が考えるレイアウト案(4案)を提案⇒検討



<良かったこと>

- ・4種類のレイアウトを提示いただき各々の特色が分かり判断しやすかった。
- ・詳細なレイアウトについて検討出来て良かった。
- ・他の参加者の考えが把握できた。
- ・複合施設のイメージがわいた。
- ・市から4案提案していただき、イメージがわいた。比較する物があり、よく細かく提案できた。
- ・ワークショップで自分の意見を伝えられた(川を見られるような構造等、玄関の位置等)。

<改善が必要なこと>

- ・東西南北、道路位置、河川位置がもう少し分かり易ければ良かった。
- ・子供関連の施設については、若い方々(子育て中)の意見が必要ではないか。
- ・事前にイメージ図など欲しかった。見たうえでWSに参加した方が良いと思う。
- ・1つの案に絞って検討を進めるべき。
- ・若い世代をもっと入れて欲しい。10年後・20年後を描けるように若い世代が主体的になって考えるべき。

<ワークショップ今後のスケジュール>

- ・12月下旬 複合施設レイアウト提案・検討、河川空間オープン化勉強、屋外エリア活用方法検討
- ・2月下旬 複合施設レイアウト決定、屋外エリア活用方法検討 → 住民自治協議会継続協議
- ・3月上旬 ワークショップの検討案を受け、復興対策企画委員会にて決定

8-7 長沼地区河川防災ステーションエリア スケジュール

災害復興計画／1-2-1生活インフラ・ライフライン等の整備

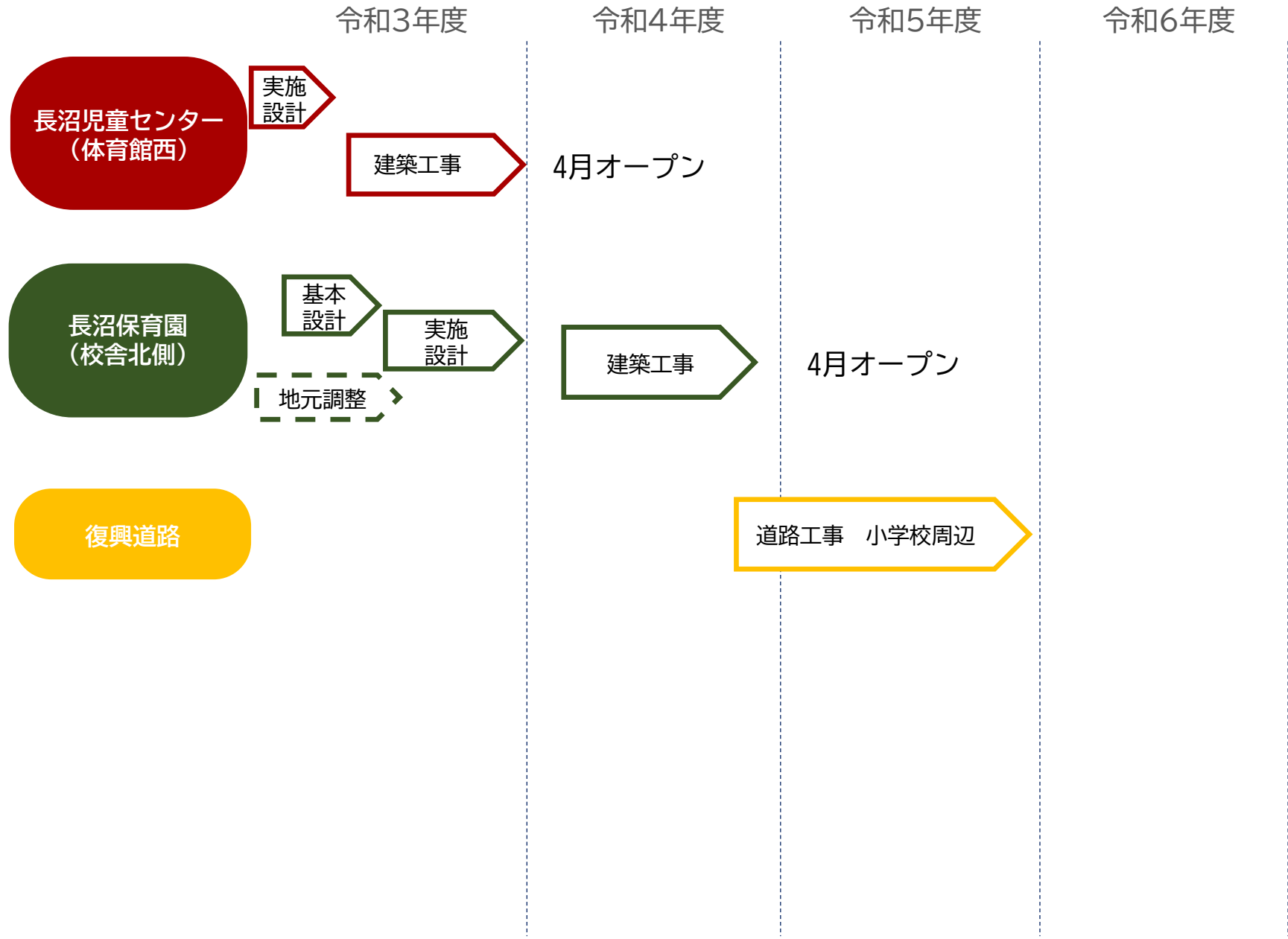
21



8-8 長沼小学校エリア スケジュール

災害復興計画／1-2-1生活インフラ・ライフライン等の整備

22



※カッコ内は想定又は現況面積

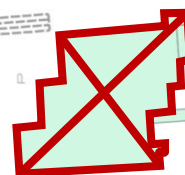
沖団地(拡大図)

事業スケジュール(予定)

R2 ~ R5



豊野公民館



解体

(1,076㎡)

豊野体育館

豊野支所

豊野公民館(拡大図)

横幅約150m

縦幅約60m

駐車場

②

盛土

①
(1,000㎡)

横幅約120m

縦幅約35m

③

資材置き場

- 袋詰玉石・砕石・土のう
- 水防対策備蓄ブロックなど

水防倉庫等

(100㎡)

防災交流センター・
防災備蓄倉庫

敷地全体面積 約7,800㎡

広場(駐車場)

※上記の図は、公民館・防災公園等の配置を示したものであり、実際の縮尺とは異なります。

9-3 【仮称】豊野防災交流センター検討経過

災害復興計画／1-2-1生活インフラ・ライフライン等の整備

25

【仮称】豊野防災交流センターの整備について検討するため、豊野地区災害復興対策委員会が別組織として「(仮称)豊野防災交流センター検討委員会」を立ち上げ、配置や機能などについて議論している。(市は、事務局として参加)

回数	日	場所	内容	課題
1	R3.3.3	豊野公民館 ＜講堂＞	建設経過説明 これからの豊野について意見を出し合う	○再度災害防止のため、盛土等の浸水対策が必要であるが、隣接住民が雨水による影響を心配している。
2	R3.3.24	//	問題点・課題【浸水対策】について話合う 解決策を探る	
3	R3.4.14	//	浸水時の沖団地周辺への影響について勉強 人が集まる施設、防災の拠点について話合う	○地下に雨水調整池の設置 要望有
4	R3.5.9	駅・沖団地周辺	現地踏査 駅からの距離感、周辺環境、広さなど確認	○国・県管理河川の治水対策に対する市の考え方
5	R3.5.26	豊野公民館 ＜講堂＞	現地調査の感想を話し合う 事例（コミュニティ施設・図書館など）研究	
6	R3.7.7	//	防災交流センターの施設内レイアウト・機能、 沖団地全体の配置案について話合う①	
7	R3.8.18	豊野支所3階 ＜大会議室＞	防災交流センターの施設内レイアウト・機能、 沖団地全体の配置案について話合う②	○盛土の体積と同じ程度の 雨水調整地の設置要望
8	R3.10.6	//	設計業者（プロポーザル）紹介、別グループ の配置案・レイアウト案を見て意見交換	
9	R3.10.27	豊野公民館 ＜講堂＞	設計業者から配置案・レイアウト案を提案 （ワークショップの意見反映）	
10	R3.12.21	豊野支所3階 ＜大会議室＞	設計業者から配置案・レイアウト案を提案 （盛土の考え方、配置・レイアウト案説明）	

※年度内に基本設計完了予定



【入居申込み状況】

(令和3年11月25日時点)

	1DK	2DK	2LDK・3DK	合計
提供戸数	24戸	33戸	16戸	73戸
入居予定数	19戸	31戸	16戸	66戸
空室数	5戸	2戸		7戸



【概要】

構造: 鉄筋コンクリート造

規模: 4階建て

整備戸数: 73戸

間取り: 1DK、2DK、
2LDK、3DK



● 経 過

市東北部(豊野地区)の消防体制強化のため、災害復興計画に位置付け、R3年に事業化

● 施設整備等の概要

- ・ 支所の一部及び隣接する消防コミュニティセンター(旧消防団施設)の消防庁舎への転用改修工事
- ・ 高規格救急車等の車両・資機材等の新規購入



豊野支所1階の一部を改修し消防執務室を設置



豊野支所外観



執務室施工状況

コミュニティセンター改修し車庫と夜間待機室を設置



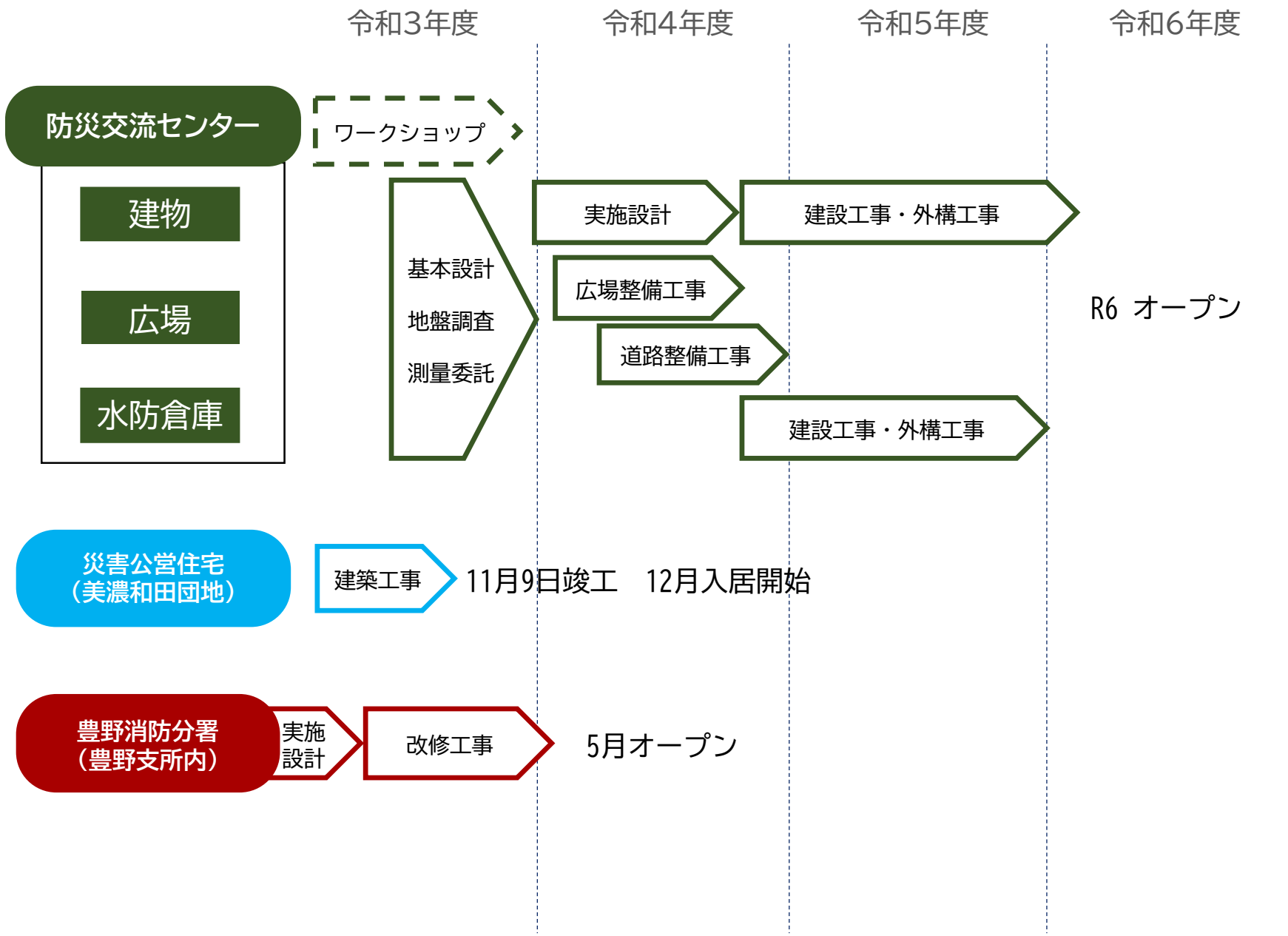
コミュニティセンター外観



車庫施工状況

● 今後の予定

- ・ 庁舎等改修工事は12月初旬に竣工
- ・ 高規格救急車等の車両・資機材の納入・出動指令端末の整備はR4年3月中の完了を見込む
- ・ R4年4月人員配置 開署準備(約1カ月)
- ・ R4年5月1日 運用開始(予定)

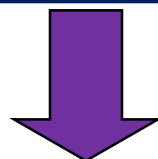


長沼地区の地区防災計画とコミュニティタイムラインの整備

平成26年4月1日施行の改正災害対策基本法において、地域防災力の向上と地域コミュニティの活性化を目的に、地区防災計画制度が新たに創設。

長沼地区防災計画作成（平成27年4月）

※洪水は、計画規模降雨（L1）による浸水想定区域に対応。



長沼地区では、5年経過と千曲川の想定最大規模降雨（L2）による浸水想定区域の公表により、令和元年度から令和2年度にかけて見直しを予定していた。

令和元年台風第19号による洪水被害



千曲川・犀川流域全体での洪水対応の重要性（流域タイムラインへの取組）

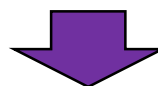
コミュニティタイムラインの推進（国交省：長沼地区をモデル地区に指定）



↓千曲川河川事務所の支援

長沼地区防災・減災まちづくり座談会

第1回 令和2年10月13日（災害から1年） ～ 第10回 令和3年11月9日



長沼地区防災計画、避難ルールブックの見直し、
長沼地区コミュニティタイムラインの作成（令和3年12月）

※コミュニティタイムラインは、令和3年夏に試行版を運用し課題を踏まえて令和3年12月に完成。

長沼地区コミュニティタイムラインの概略

流域警戒 ステージ	時期	伝達する情報および伝達手段：「誰が」→「どんな情報を」→「どんな手段で」→「誰に伝える？」		
		国・市 ⇒ 長沼地区災害対策本部	地区災害対策本部⇒区自主防災会	区自主防災会 ⇒ 組・常会 ⇒ 住民
1	災害発生 の概ね 5～3日前	■伝達する情報・伝達手段	■伝達する情報・伝達手段	
2	災害発生 の概ね 2日前	■伝達する情報・伝達手段 □情報を受けて実施する行動	■伝達する情報・伝達手段 □情報を受けて実施する行動	■伝達する情報・伝達手段 □情報を受けて実施する行動
3	災害発生 の概ね 1日前	■伝達する情報・伝達手段 □情報を受けて実施する行動	■伝達する情報・伝達手段 □情報を受けて実施する行動	■伝達する情報・伝達手段 □情報を受けて実施する行動
4	氾濫注意 水位超過	■伝達する情報・伝達手段 □情報を受けて実施する行動	■伝達する情報・伝達手段 □情報を受けて実施する行動	■伝達する情報・伝達手段 □情報を受けて実施する行動
	避難判断 水位超過	■伝達する情報 市：警戒レベル3高齢者等避難発令 ■伝達手段	■伝達する情報・伝達手段	■伝達する情報・伝達手段
		□情報を受けて実施する行動	□情報を受けて実施する行動	□情報を受けて実施する行動
	氾濫危険 水位超過	■伝達する情報 市：警戒レベル4避難指示発令 ■伝達手段	■伝達する情報・伝達手段	■伝達する情報・伝達手段
		□情報を受けて実施する行動	□情報を受けて実施する行動	□情報を受けて実施する行動
〈警戒レベル4までに必ず避難！ 逃げ遅れはゼロに！〉				
5	緊急安全 確保	■伝達する情報 市：警戒レベル5緊急安全確保発令 ■伝達手段		
		□情報を受けて実施する行動	□情報を受けて実施する行動	□情報を受けて実施する行動
	氾濫発生 情報	■伝達する情報・伝達手段		
		□情報を受けて実施する行動	□情報を受けて実施する行動	□情報を受けて実施する行動

防災行政無線(同報系)デジタル化整備事業 令和4年3月完了予定

令和3年11月末までの進捗

99.8%

整備済み基数493基／整備予定基数494基



長野市防災ナビ 令和3年4月運用開始

防災行政無線デジタル化整備事業の一環として構築。

防災行政無線の放送内容の確認

- ・放送内容を、音声再生とメッセージテキストで確認できる。

災害の危険性の確認

- ・土砂災害警戒区域、浸水想定区域を確認できる。

指定緊急避難場所の確認

- ・お近くの指定緊急避難場所を確認できる。
(避難所の開設状況を示すものではない。)

安否情報の登録

- ・安否情報の登録を設定することで、災害時に家族や知人の安否情報を確認できる。

ダウンロード数

6,746件(令和3年11月末)



次のURLか二次元バーコードからダウンロードできます。

<https://www.city.nagano.nagano.jp/soshiki/kikibousai/466755.html>



災害により居住用住宅が全壊するなど、生活基盤に著しい被害を受けた世帯に対して支援金を支給

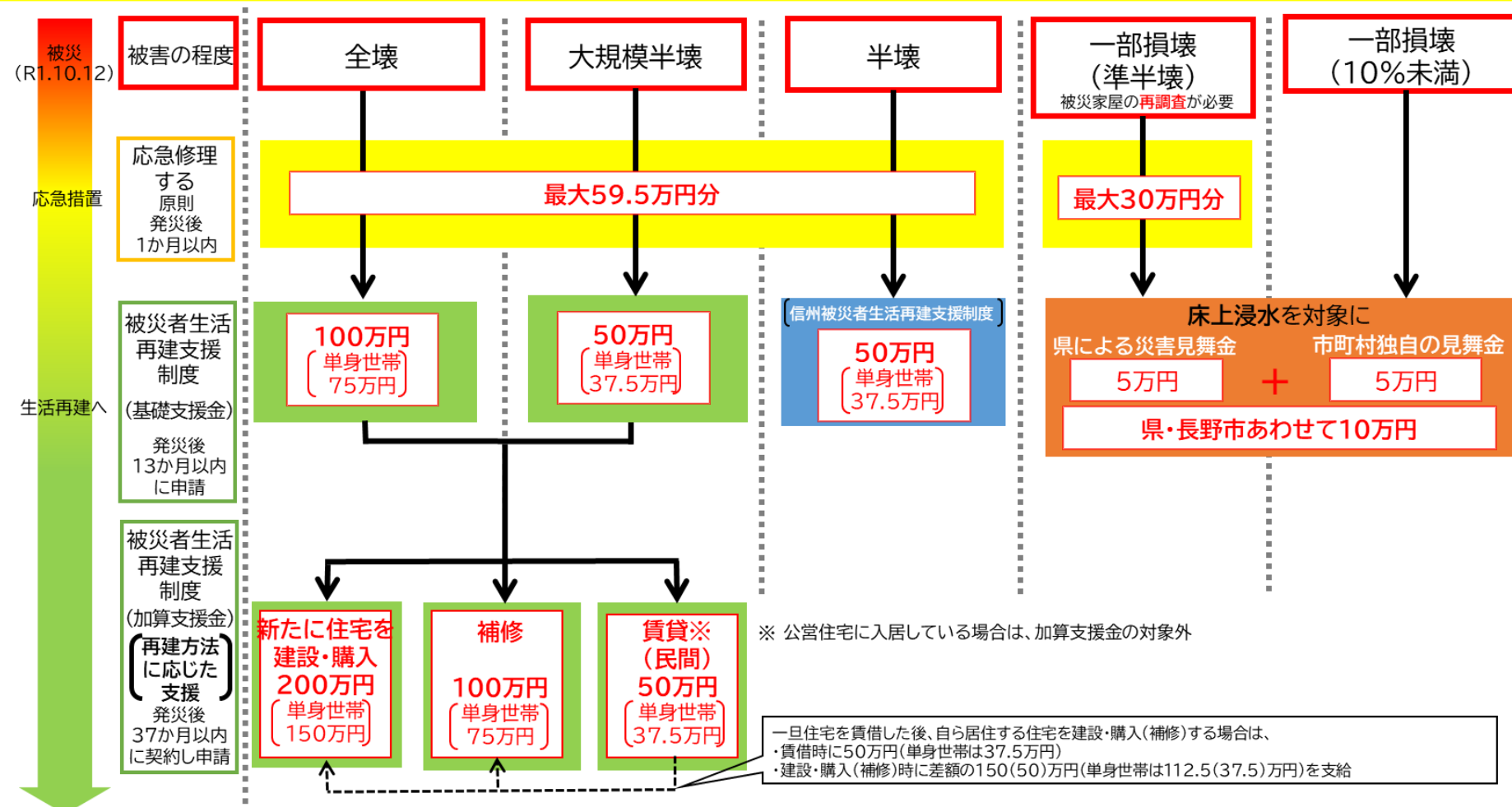
【支給件数】 ※いずれも令和3年10月31日現在

被災者生活再建支援制度＜全壊・大規模半壊等対象＞ 2,695件(加算支援金1,178件を含む)

信州被災者生活再建支援制度＜半壊対象＞ 1,302件

長野県・長野市災害見舞金＜半壊未満の床上浸水＞ 364件

※被災者生活再建支援制度(基礎支援金)の申請期間については、令和3年11月11日で終了



市被災者見守り支援担当職員、「長野市生活支援・地域ささえあいセンター」、関係機関等が連携して被災者支援を実施

【支援件数】 延べ10,940件(令和元年12月～令和3年10月)

基礎情報 (R3.10月末)		支援類型別支援件数 (延べ：R1.12月～R3.10月)				
支援対象	対象世帯数	訪問件数	電話	来所	その他	計
建設型仮設	48	2,354	150	9	397	2,910
みなし仮設	287	4,094	786	20	665	5,565
公営住宅等	125	1,530	176	15	322	2,043
在宅	74	254	33	10	125	422
計	534	8,232	1,145	54	1,509	10,940



基礎情報	相談内容								
支援対象	居住関係 (再建)	健康・ 医療関係	家族関係	就労関係	居住関係 (仮設)	介護・ 福祉関係	経済面	その他	計
建設型仮設	513	509	251	79	80	82	25	1,164	2,703
みなし仮設	2,054	922	729	232	154	142	90	1,981	6,304
公営住宅等	473	278	182	53	73	96	14	696	1,865
在宅	114	47	56	15	11	28	3	130	404
計	3,154	1,756	1,218	379	318	348	132	3,971	11,276

長野市地域防災計画に基づき「長野市災害義援金配分委員会」を設置し、市内外から寄せられた義援金を公平かつ効率的に配分するため、配分基準について協議・決定し配分を実施

- ・令和元年12月20日に長野市災害義援金配分委員会を開催し、第1次配分を実施
- ・令和2年3月に第2次配分、8月に第3次配分を実施
- ・本年3月に第4次配分、10月に最終となる第5次配分を実施

義援金額

(募集受付期間)

R元10.16

～

R3.3.31まで

名 称	義援金額(円)	備 考
長野市災害義援金	302,771,408	
長野県災害義援金	2,086,954,452	長野市分
長野県共同募金会災害援護金	16,315,000	市社協を通して
最 終 総 額	<u>2,406,040,860</u>	

配分基準 及び 配分額

配分基準			配分内訳(円)			配分総額(円)
配分対象被害(区分)		ポイント	長野市	長野県	県共同募金会	
人的被害 (1人当たり)	死 亡	1.0	143,857	992,578		1,136,435
	重 症	0.5	71,929	495,277		567,206
住家被害 (1世帯当たり)	全 壊	1.0	143,857	992,554		1,141,411
	大規模半壊	0.75	107,893	744,416		857,309
	半 壊	0.5	71,929	495,277	一 律 5,000	572,206
	一部損壊 床上浸水	0.1	14,386	98,255		117,641

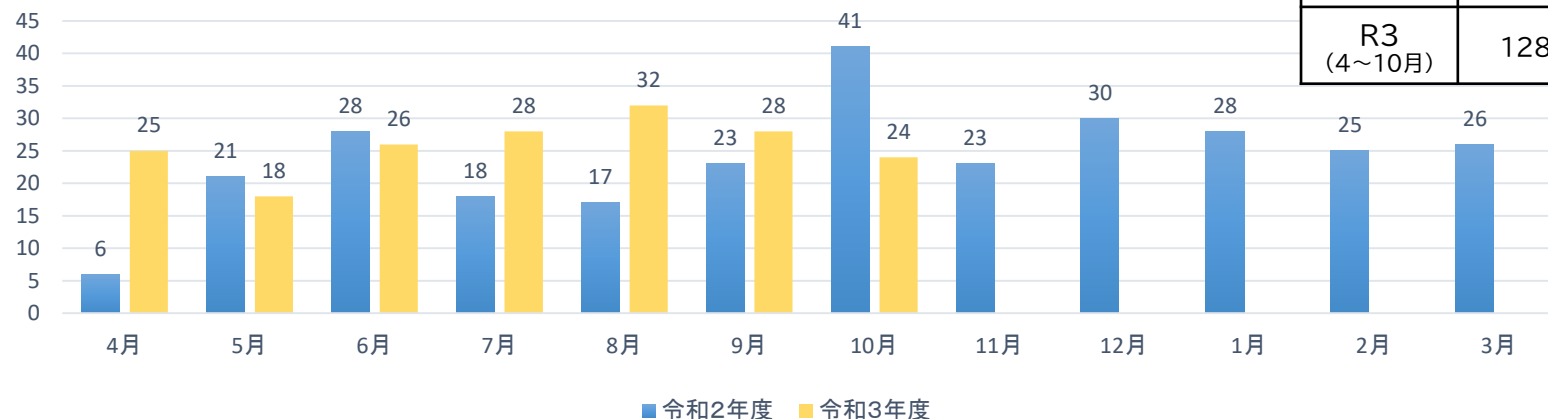
保健師による相談

保健師による相談(延べ件数)

(1) 専任保健師相談件数(建設型仮設住宅入居者)

【主な相談内容】

・健康(身体、精神)の支援、
復興住宅への転居後の不安等

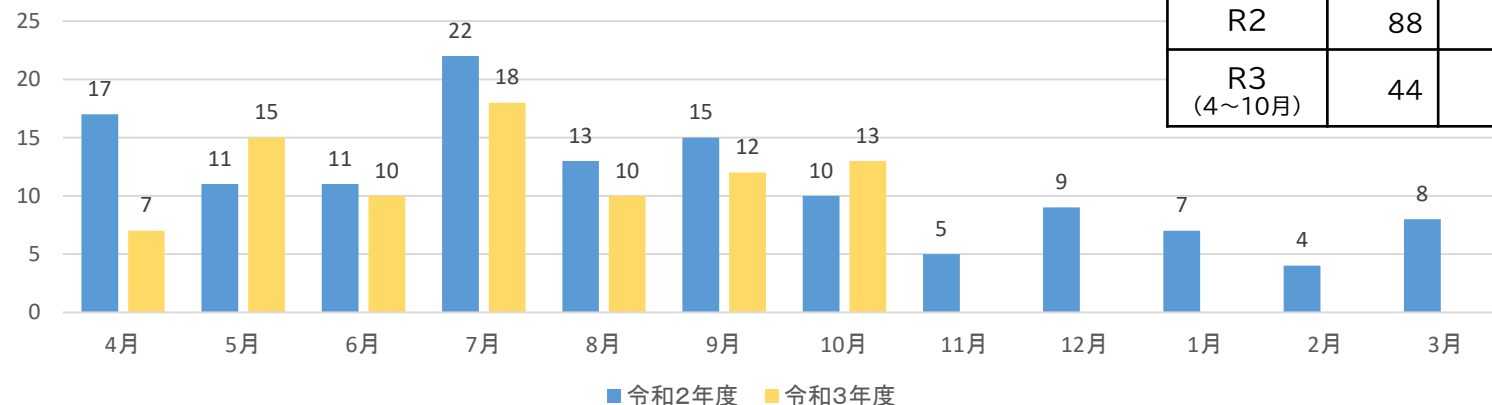


	訪 問	面 接	計
R2	219	67	286
R3 (4~10月)	128	53	181

(2) 地区保健師相談件数(被災者全体)

【主な相談内容】

・健康(身体、精神)面の支援等



	訪 問	面 接	電 話	計
R2	88	17	27	132
R3 (4~10月)	44	16	25	85

- 発災直後から家庭から出た災害廃棄物の受入を実施
【搬入台数】 90,615台（令和3年8月31日現在） うち公費解体分 24,812台
- アクアパル千曲及び豊野東山運動場の2施設について、原状復旧に向け整備中
＜整備完了予定＞アクアパル千曲 令和3年中、豊野東山運動場 令和3年度中

各災害廃棄物仮置場の受入状況

・ アクアパル千曲	合計搬入台数	30,927台
・ 豊野東山第1・第2運動場	合計搬入台数	22,109台
・ 穂保高台避難公園南	合計搬入台数	3,785台
・ 赤沼公園	合計搬入台数	15,578台
・ 篠ノ井運動場	合計搬入台数	10,325台
・ 青垣公園運動場	合計搬入台数	7,891台



＜篠ノ井運動場(災害廃棄物搬入ピーク時)＞

公費解体

○市が所有者に代わって家屋等の解体・撤去を実施

申請件数:1,024件／解体件数1,024件
(令和3年11月1日現在)

申請受付期間：令和2年1月10日～令和3年5月28日
(期限延長)

自費解体

○所有者が既に実施した家屋等の解体・撤去工事について、
要した費用の全部または一部を市が償還

申請件数:259件／償還件数259件(最終:令和3年1月21日)

申請受付期間：令和2年1月10日～令和2年9月30日
※契約期限は令和2年6月30日まで

13 応急仮設住宅等の入居状況

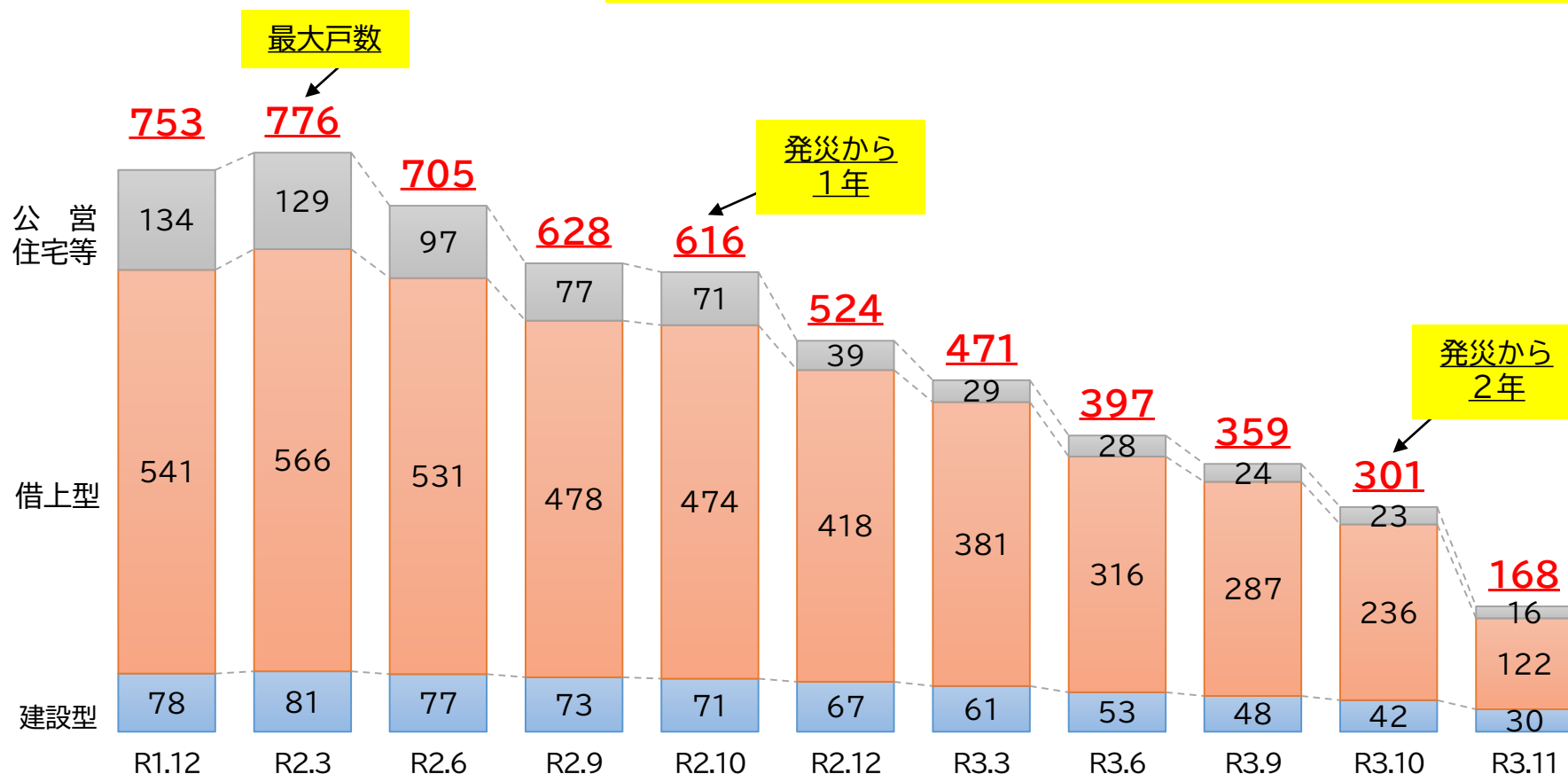
【応急仮設住宅】

令和3年11月末現在で、168戸、約380人が市内外の応急仮設住宅に居住している。

【住宅再建】

応急仮設住宅(建設型)は、11月末をもって入居期間満了。
 応急仮設住宅(借上型)は、入居期間2年を満了した世帯など約8割の世帯が安定した住まいを確保し、仮設住宅を退去。
 入居期限延長対象者を除き、現時点で、再建方法が決まっていない世帯や再建時期が未定の世帯など10世帯程度あることから、引き続き、住宅再建に向けて個別に、被災者に寄り添い継続的な支援を行う。

<これまでの推移>



農地の堆積土砂撤去、農道・用水路の復旧

農地の復旧(堆積土砂の撤去100%完了)

・被災農地の土砂撤去・表土復旧 面積:約344ha 申請件数:1,365件 搬出土砂:約20万 m^3

農道・用水施設の復旧

・農道 土砂撤去(令和2年2月完了済):325路線、延長約100km

損壊:71箇所(令和3年7月完了済)

・用水施設(水路、取水施設等) 損壊:75箇所(令和2年4月概ね完了)

残り1箇所(令和4年5月完了予定※)

※長野県発注の保科川災害復旧工事との工程調整による

(残りの用水施設状況)



<被災直後>



<用水仮設状況>



暗渠パイプの設置による応急的な通水確保

営農再開・継続に向けた支援

●農業用機械・施設の再取得等の助成金実績（令和3年3月31日現在）

区分		申請者数 (人)	件数	補助金額 (千円)
機 械	乗 用 ト ラ ク タ ー	845	323	517,494
	ス ピ ー ド ス プ レ ャ ー		259	1,016,618
	乗 用 型 草 刈 機		347	205,428
	高 所 作 業 機		222	188,457
	そ の 他		3,971	1,018,032
	小 計		5,122	① 2,946,029
施 設	農 機 具 格 納 庫	333	686	② 1,531,288
	ビ ニ ー ル ハ ウ ス			
	防 霜 フ ァ ン 等			
計				①+② 4,477,317

●被災農地の賃借マッチング【長沼、豊野、篠ノ井、松代、若穂 等】（令和3年11月30日現在）

被災農地(堤内)の所有者に今後の営農意向アンケートを行い、その結果を踏まえて長野市農業公社、農業委員等が連携してマッチングを進めている。

(取組状況) 被災農地 738ha
 貸出希望 34ha (貸付希望割合4.6%)
 借受成立 21.8ha (マッチング進捗64.1%)

今後の復興を祈念するとともに、被災地の復旧・復興状況を発信し、地域経済の活性化に寄与するため、被災地等を紹介したパンフレット配布(千曲川沿いの隣接3市町含む)、被災地や地域に関する謎解きラリー開催、復幸BOX販売などを実施する。

期間

令和3年10月1日(金)～令和4年1月31日(月)(予定)

運営組織

いまこそ応援「がんばろうNAGANO」2020
実行委員会

主な事業

①

被災地の今を刻む パンフレット・スマートフォンサイトでの地域紹介

連携：岡学園トータルデザインアカデミー

◆パンフレット冊子1万冊配布

10月から長野市及び隣接3市町
観光案内施設、スマホサイトポイント
、高速道路SA・PA、銀座AGANO
等で配布

◆謎解きデジタルスタンプラリー

サイト稼働11月3日～28日
スマートフォンサイト閲覧件数
1,176件

イメージ

場所を当てる
謎解き

現地に行く

正解チェック

GPS機能で
正解の判定

主な事業

②

被災地物産展 復幸(ふっこう)BOXの販売

被災地企業の商品や市内の物産などを「復幸BOX」に詰め込み、被災地を中心とした店舗及びインターネットで販売し、被災地を支援。観光パンフレット、ノベルティ、宿泊券(抽選)などのプレゼントも用意し、各地域の魅力を体感し、実際に周遊していただく。

◆11月3日から市内外3店舗のほか、販売専用サイトで販売中

実績:425箱販売(11/30現在)



イメージ

特典

ONE HEART



支援への感謝
プレゼント
(全員・抽選)

松代荘
宿泊ご招待券

主な事業

③

被災地の素材を紹介 地域の素材を使った商品・メニューの開発

学生と連携し、被災地域のりんごを素材に使用した商品を開発・販売。被災地域の素材をPRする。

- ・りんごのささやき<株式会社タカチホ>
- ・焼肉のたれ<炭火焼肉ジンギスカン もんも、酢屋亀本店>

◆いずれも11月3日から復幸BOX

に詰め合わせるなどして販売

連携：岡学園トータル
デザインアカデミー



実績:お菓子年内完売見込み、焼肉のたれ完売(店舗販売)

連携：清泉女学院大学

連携事業

復興NAGANO！音楽祭 音楽イベントへの被災者招待

音楽の力で元気と明日への活力を感じていただけるよう、長野市芸術館主催の音楽イベントに協力し、被災者の皆様を招待。また、災害を伝えるパネル展示や映像紹介などにも協力し、イベントを通して被災地の復興を祈念した。

◆11月21日 長野市芸術館メインホール 100組198名招待



県内経済復興祈念花火 復興花火の打上げ

新型コロナウイルス感染症の終息や県内経済と県民マインドの回復、被災地の復旧・復興を祈念する「県内経済復興祈念花火事業」に対して実行委員会として後援することで、被災地とともに今後の復興を祈念した。

◆11月3日 市内5カ所で打上げ



長野市観光PRと復興支援 被災地産りんごの販売

NCVBと協力し、長野市の観光PRイベントの開催に協力してイベント会場において長沼地区のりんご販売とパンフレット冊子の配布を行うことで、被災地の生産者を支援するとともに、被災地の復旧・復興状況を発信した。

◆11月26日～12月5日 埼玉県内JTB2店舗 りんご約2,000個販売

